

鹿島高校だより

佐賀県立鹿島高等学校
(普通科・商業科・食品調理科)

題字: 書道科担当
吉田 恭子

第7号
(2025. 10)

牡丹餅食べて 決意新たに

10月18日(金)、3年生を対象に鹿島高校の伝統行事“牡丹餅会”が開催されました。まず、会が始まる前に、地元の佐賀県や鹿島市、鹿島高校にゆかりの歴史や文化を、牡丹餅会の歴史を通して学ぶ講演会が開催されました。昨年に引き続き、鹿島市役所生涯学習課の江島様を講師にお招きし、「さがを誇りに思う教育推進事業」の一環として行われました。生徒は、普段、聴くことができない鹿島高校の歴史の話を聴き、鹿島高校の伝統をしみじみと感じたようでした。

牡丹餅会では、生徒に牡丹餅が贈呈され、生徒代表の池田絢那さんは「これからの人生で幾度となく訪れる困難を乗り越えられるよう、牡丹餅のように粘り強く生き、他者をやさしく包み込むことができる人間となれるよう努力を重ねていきたい」と熱い思いを語ってくれました。また、余興も行われ、弓道部の山口慧花さんと田中葵さんが矢を放つまでの一連の動作を披露してくれました。

終了後は、それぞれの教室に戻り牡丹餅をおいしそうに食べていました。牡丹餅を初めて食べるという生徒も「おいしかった!」と満面の笑みを浮かべていました。



芸能エンターテインメント “あっ”という間の90分

芸術の秋、本校では芸術・芸能の世界で活躍されている様々な方をお招きし、芸術・芸能に触れる機会をつくっています。今年は10月15日(水)に開催され、“あべや”様をお招きしました。津軽三味線を片手に、全国で活躍されている津軽三味線民族音楽ユニットです。

演奏が始まる前は、「三味線かぁ」と生徒の関心はあまり高くなさそうでした。しかし、二人の笛と津軽三味線と軽快なトークで、生徒は一気に心をつかまれたようです。狐の面を付け、笛の音に合わせて行進する“白虎行列”に始まり、お笑い芸人を思わせる二人のボケとツッコミ、民謡に合わせた「サーッサヨイヨイ、ヨイサーヨイサー」の合いの手、生徒参加型のソーラン節などで会場全体が盛り上がりを見せていました。また、兄弟曲弾き対決では、津軽三味線即興演奏のコンテストスタイルで「銀三郎〜」や「金ちゃん」などのかけ声が会場中から飛び交い、二人の技術と津軽三味線の伝統を同時に楽しむことができました。

終了後の帰り道では、「めっちゃ楽しかった」と、二人の演奏の素晴らしさと芸の見せ方に魅了されていたようです。



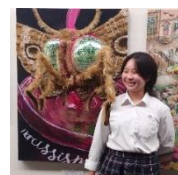
鹿島高校生の活躍

滋賀県で開催された「わた SHIGA 輝く国スポ・全障スポ2025」に、本校弓道部が佐賀県代表として出場しました。少年女子近的の部で決勝トーナメントに進出し、4位に入賞しました。3位とは1本差で惜しい結果でしたが、大健闘を見せてくれました。

第63回技能五輪
全国大会日本料理
部門に、食品調理科
2年の下田美里さん
が敢闘賞を受賞しました。



第37回佐賀県高等学校総合文化祭美術・工芸展では、美術部2年の大島美空さんがデザインの部で特選に選ばれました。同時に、来年秋田県で開催される全国大会への出展も決定しました。



“交通安全の取り組み”表彰 自作のぼり旗で交通安全を呼びかけ

9月11日(木)、長年本校がおこなってきた交通安全啓発活動や交通事故防止の取り組みに対して、九州交通安全協会より表彰を受けました。緊張した面持ちで賞状を受け取った生徒は、これからも活動を継続していくことに身を引き締めていたようです。

また、同日は街頭交通安全啓発活動も行われ、美術部、書道部、生徒会役員の生徒がのぼり旗を持って交通安全を呼びかけていました。こののぼり旗は、美術部と書道部が協力して作成したもので、より一層思いのこもった声かけができたようです。



市長と語る会



10月6日(月)、鹿島市長を本校に招き、1年生を対象に市長と語る会を開催しました。最初に、市長から肥前鹿島駅の改修計画や鹿島市の取り組みについて説明を受けました。その後、複数の生徒が市長に質問をおこない、市長と語り合う姿が見られました。また、周りの生徒も、そのやりとりに耳を傾け、熱心に話を聞く姿も印象的でした。この後に取り組む、鹿島市を題材に行う探究学習「鹿島さいこうプロジェクト」で、今回の学びを活かしてくれると思います。

赤ちゃんに触れ合い 自らの未来を思い描く

10月、1年生を対象に「ふれあいキッズデー」と題して、乳幼児期の親子を本校に招き、子どもとの接し方や子育てについて学ぶ体験活動が行なわれました。慣れない手つきで赤ちゃんをあやす姿や、「きゃっきゃ、きゃっきゃ」と赤ちゃんと一緒に楽しく遊ぶ姿が見られました。参加した生徒からは「本当にかわかった。(赤ちゃんの)お母さんからは、子育てのことについて詳しく話を聞けてよかった」との声が聞かれました。それぞれが、自身の将来について考える良い機会になったようです。



後期生徒会長決定！



9月22日(月)、後期生徒会長を決めるための「立会演説会」と「選挙」が行われました。その結果、2年2室の早瀬太陽さんが後期の生徒会長に選出されました。「立会演説会」が行われたのは9月22日。5人の候補者が、それぞれの公約を掲げ、鹿島高校をより良くするための思いを演説しました。全校生徒は、5人の公約や思いを比較し、票を投じていました。

後日行われた後期生徒会役員任命式で早瀬さんは、「早瀬でよかった!と思ってもらえるよう、会長として頑張りたい!」と熱い思いを語ってくれました。

